

活用のタイプ 観光的・**文化的**

ひと工夫で変わる 歴史文化の学習体験

出前授業

- ① 活用の方法：学校教育への組込
- ② 対象の文化財：地域の文化遺産（指定等）
- ③ 実施主体：鳥取県埋蔵文化財センター

概要

普及啓発事業として県内の児童・生徒を対象に、専門職員を派遣しての出前授業が実施されている。

縄文から古代、戦国時代など、学校周辺にある文化遺産を題材として、座学に留まらず、体験を通して文化財の価値やおもしろさに気付くよう工夫されている。

戦国時代をテーマにした授業では、学校近辺の城跡を題材に、長机で模した堀切と土橋で城攻めの体験をさせて、城の役割や当時の社会の様子など感覚的に捉え、考えられるよう仕組んでいる。中世の陶磁器や古銭などにも触れさせ、人々の暮らしぶりにも興味を持たせている。



体験がもたらす文化財への理解と関心

子どもたちが「難しい」と感じることもある歴史や文化財。身近な素材を取り上げ、子どもたちが「わくわく」するような疑似体験、実物に触れる体験を設定することで、実感を通じた理解、知的好奇心の高まりにつなげている。



鳥取市立東郷小学校での取組みの様子

（問合せ先）鳥取県埋蔵文化財センター

TEL：0857-27-6711

FAX：0857-27-6712

E-mail：maibuncenter@pref.tottori.lg.jp

他県の類例